



7月に入り、ずいぶん暑くなってきました。いよいよ夏本番ですね。夏休み、沸き立つ積乱雲、夏祭り、盆踊り、少年野球、カキ氷…少し前までは四季の中で夏が一番好きでした。年とともに夏の暑さを体が少しずつ苦手だと感じ始めているようです。みなさんはいかがですか。

高齢者の方や子供たちは特に水分を必要とします。こまめに水分補給を心がけ、どうかご自愛ください。



**市立高校の空調設備  
電気代は親負担？**

県立高校と同様に市立高校も順次、各教室への空調設備の設置が進められています。夏の暑い盛りに40度近くまで上昇する鉄筋コンクリートの校舎は勉強どころではないと数年前に行われた和歌山県教職員組合の調査で明らかとなりました。義務教育である小・中学校は未設置で保健室やコンピュータ室など一部に限られています。

## 公共施設の管理責任は？

経費節減を理由として市民会館や和歌の浦アートキューブ、東公園の野球場・体育館、四季の郷の「自然

始まったと喜んだのもつかの間、県教委は電気代を保護者負担で決めました。市立学校である市和商についても県立高校に合わせ、電気代を徴収するという説明でしたが、原油高騰のあおりを受け諸物価が値上がり、家計は火の車です。せめて保護者負担を軽減するのは市の努めではないでしょうか。



## 《6月定例議会》

6月12日から開会された定例議会は一般質問、常任委員会、特別委員会の審議を経て、7月1日、賛成多数ですべての議案が可決され終了しました。  
当局から提案された37議案（人事案件を除く）のうち、日本共産党市議団は11件に反対しました。



## こんにちは！ 藤井健太郎です

（ふじい けんたろう）

6月県議会が知事提出の補正予算、条例改正、公安委員や監査委員の選任などの31議案をいずれも原案通り可決し閉会しました。

日本共産党県議団は、県税条例の改正、後期高齢者医療の診療報酬、中小企業高度化資金貸付金の債権放棄などの5議案に反対し、私が討論に立ちました。

県税条例では、上場株式の売却益と配当への課税の軽減措置を延長することや株を売って損した分と配当を合算して税逃れともなる大資産家優遇税制となっていること、道路特定財源の暫定税率の10年間延長が含まれていること、後期高齢者医療で終末期の延命治療をやめる相談をすると報酬が増えるなど、差別医療となっていること、26億円もの債権放棄の提案について貸付は適切にされていたというだけで、議事録も残されていないことなどの問題点を指摘しました。

他会派は全議案に賛成しました。

観察の森」などの運営管理を、市で導入した他の自治体では、民間が途中で投げ出したり、経営がうまく行かず貴重な文化財が売りに出されるなどの問題も起こっています。

これは人件費を安い労働力に置き換えて経費節減を図ろうとするものに他なりません。『ワーキングプア』や『ネットカフェ難民』など社会的にも重大な問題となっている非正規雇用の増大を市が助長することにつながります。

また、教育委員会関連の施設へ

## 【森下さち子】一般質問【市民の立場に立って奮闘中！】

6月議会では農業振興の観点から「生産緑地制度の改善」と国民健康保険の保険料引き下げや資格証発行の是非について質しました。

## 後期高齢者医療制度始まる

## 保険料にびっくり！

後期高齢者医療制度が4月から始まったことは前回のニュースでもお知らせしました。

厚生労働省は当初、この保険制度ができれば国保の財政が安定し健全化すると説明していました。

ところが6月、各家庭に送付された保険料の納付書を見るとほとんどの世帯で保険料が上がっていることが明らかとなりました。

## 支援分が保険料値上げに！

国民健康保険料は医療分と介護分（40歳以上）の2本立てになっていました。

今年から後期高齢者の支援分が新たに増え3本立てとなりました。医療分は75歳以上の方を切り離したことで下がりましたが、その代わり今度は0歳から65歳までが75歳以上の方を支えるということで支援分が医療分を上回り、結果的に値上がりとなったのです。

後期高齢者医療制度は保険制度全般に影響を与えており、国の責任で撤回するべきです。年金生活者や中小自営業者がほとんどを占める国保を安心して受けられる医療制度として支えるのは国の責任です。国に強

く財源保障を求めつつ、市独自の保険料軽減策を求めました。



## 家庭の一般ごみ収集が

## 有料に？（40リットル52円）

昨年11月から「廃棄物対策審議会」が開かれ、その審議会に市長から一般ごみと粗大ごみ（1品目300円）の有料化案が諮問されました。私も審議会委員になっており、現在3回の審議が経過したところです。市は有料化すれば、ごみを減らすために経済的な動機となり有効であると言います。大量生産、大量消費、大量廃棄を進め、ごみ処理は焼却に頼ってきた日本のごみ行政は今、地球環境という面からも改善が求められているのは事実です。

しかし、有料化で本当にごみは減らせるのでしょうか。一般ごみの中にはカン、ビン、ペットボトル、プラ容器などの資源ごみ（40リットル20円）も含まれていま



（40リットル20円）も含まれていま

す。全部を分けずに混合してしまえば焼却か方法はありますが、分別を徹底している自治体はごみを減らすことができています。

また、消費者である市民にだけ分別や手数料負担を求め、発生源である製造者責任（企業責任）を義務付けない現状では根本的解決にはなりません。

## みなさんの

## 意見を

## 聞かせてください

私は有料化を拙速に進めるのは反対であること、また、審議会だけで議論するのではなく、早く市民に市の計画を示し、説明会や学習会を開いて市民の意見を聞くべきだと一貫して求めています。



## 生活相談

毎週木曜日午後1時～4時まで  
森下事務所にて

電話 (475) 8122

◇8月14日はお盆のためお休みします。

おっきく  
なあれ

森下さんちの  
元哉くん  
成長日記

4月から高校生になった元哉、結構だった学生服からブレザーとチェックのズボンに変わりました。本人はあまり気に入っていませんが、片道40分の道のりを自転車で行く毎日です。高校生ともなれば、今後の進路を具体的に考える必要にも迫られるわけですが、それは私の時代より早く、早くなっているようです。早速、この夏休みには大学見学なども高校の取組みとして行われます。しかし、早くも勉強が怪しくなってきました。中学校で得意だった英語だけでも何とかと思っただけはいるようですが、勉強よりも部活動に熱心なのは相変わらずです。硬式テニス部に入り、毎日、野外で練習するため、日焼けは尋常でなく、黒さに一段と気合いが入ってきました。身体にも成長できる高校生という時代を健康で豊かに過ごして欲しいと願っています。